

第9回「私と新聞」親子作文コンクール  
**入賞作品紹介** 13

小学生の部親子賞  
**入選**



**新聞は人の知識欲を  
 わしづかみ**

玉川川村 大竹 悠紀君  
 玉川 小6年 おおたけ ゆうき

新聞は、人の知識欲をわしづかみにします。世の中ではどんなことがおきているのか、スポーツではどんなニュースがあったのか、人々の知りたい欲求をみたしてくれません。ほくも知りたいことがたくさんあります。また、学習に関する話題も取り上げられています。先日、新聞にこのような記事がありました。それは、新聞を読むと学力が上がるということですが、ほくは、これまでス

ポーツらんのプロ野球の記事や社説を中心に読んでいましたが、この記事を読んでから、読み方を改善していきたいと考えました。

新聞を読むと、文を読む力がついたり、言葉の量が増えたりします。学習に直接結びつきます。その上、社会科で学習する内容に関わる記事などもあり一石二鳥です。中学生向けの問題などもついています。全てを読むことは難しいですが、一

面の記事や社会らんに目を通していきたくいです。これからも新聞を生活

**新聞と**

**学生時代と自分**

母 大竹 治美さん  
 おおたけ はるみ

私の学生時代、新聞は必需品と言っても過言ではなかった。小論文の課題、コラムを読んで感想文を書く等々、試験のある時は、必ず新聞が手元にあっただけだ。

新聞に読者の窓という投稿らんがあるのので時折投稿したことあるのだが、よく書いたと自分

でも思ってしまう。もっとも、小論文の練習のために投稿したというだけで、別に特別なことではない。

多分それが習慣になっ

て、現在では、時間がある時は新聞を読むことにしている。テレビの面はとぼして専ら社会面ばかり読みあさっている。学

生頃は全国紙や経済新聞も読んだ記憶がある。我ながらよく読んでいたと思う。

子供が二人スポーツ少年団に入っていることもあり、ローカルの大会で優勝して記事が出ていれば、切り抜いて取っておき、大切にしている。思えば自分も読者の窓に投稿して、新聞に出ていたこともあった。

いつも決まって新聞があると、一日が始まるという気持ちになる。今日もまた、朝を告げてくれる。

学生時代の自分を思い浮かべながら、時間のあ